



編輯だより

No. 138

毎月発行が遅れて洵に申譯ありません。暑さに負けたわけではないが、此の秋からは身も心も引き締めて、かならず一日発行を厳守します。何とぞ諒とせらんことを。

曾山親民氏の逝去を悼みて

曾山親民氏が逝去されました。七月二十八日洗足の自邸で、御病氣は心臓麻痺と云ふことでした。突然だつたので私共は大いに驚きました。今年の鐵道協會總會のとき滿洲視察團の團長として新興滿洲國を視察せられ其視察談を同協會定例午餐會で發表されたのは六月二十八日と記憶します。其後も毎日鐵道協會に見えて、何時も食後の漫談に花を咲かせて居られた氏です。

曾山氏は明治三年生れの六十七歳、鹿兒島の出で其全生涯を鐵道のために捧げられた功勞者です。平生頑健で、つねに歐米の新刊雜誌圖書に親しまれ清新の知識を吸収して鐵道協會の談話室を賑はしてゐられたので、氏の急逝は各方面から非常に惜しまれました。

氏は性恬淡で思慮深く大丈夫の風格を備へ毎日外字新聞に目を通して油斷なく世界の動きを見究め、また歐米の技術家に知友が多かつたので、それ等の友人から贈られた寫眞や工事報告等を本誌を通じて發表された事は讀者諸氏も記憶に新なるものがあるでせう。

×

曾山氏は鐵道協會ばかりでなく、土木學會の視察旅行などにも必ず參加して、いつも良き話題を提供して呉れました。一見した處非常健康さうな體格で高尚な趣味生活の人でしたから六十七歳の逝去は惜しまれてなりませぬ。

那波光雄博士などはお宅も近いし、九州鐵道以來の鐵道技師として親しい談し相手を失はれ一層淋しい事でありませう。告別式の日に多く先輩が列席されてゐましたが、失明に近いと云はれる那波博士の眼鏡をかけた姿は特に參會者に感激を與へました。

曾山氏は菊花を愛し、秋の同氏邸内は階上も階下も、大輪、小輪、懸崖作り等紅、黄、紫、白の菊花で香氣滿邸の有様でした。

近時著名な先輩を失ふ事頻々として、天命とは云へ寔に哀悼にたへないものがあります。

土 木 工 事 畫 報 第十二卷 第九號 定價金七拾錢 (稅二錢)		毎月一回一日發行 一ヶ年十二册發行
普通購讀料	昭和十一年八月廿六日印刷納本 昭和十一年九月一日發行	關 西 支 局
壹部七十錢 稅二錢 參ヶ月貳圓 稅共 六ヶ月四圓 同 一ヶ年八圓 同 外國一部 七十八錢 稅 共	編輯兼印刷發行人 岡崎保吉 東京市豐島區長崎仲町二丁目三六二九 印刷所 共同印刷株式會社 東京市小石川區久堅町百八番地	大阪市浪速區惠美須町 2丁目13 工事畫報社支局 電話 戎86番
注文は總て前金、送金は必ず振替貯金にて、東京七〇貳六五番宛拂込の事、但し六ヶ月以上の申込は御希望により集金郵便を差出します。	發行所 工事畫報社 東京市麴町區丸ノ内三丁目六 電話 丸ノ内二六三三番 振替 東京七〇貳六五番	大 賣 捌 所 東京堂・東海堂 大東館・北隆館

商工省臨時產業合理局告示

日本標準規格判



- (1) 青寫真感光紙
- (2) 陽畫感光紙
- (3) 方眼紙
- (4) 透寫紙
- (5) 製圖紙

登録商標



星名刺本舗

櫻井大二郎商店

東京市日本橋區馬喰町二丁目

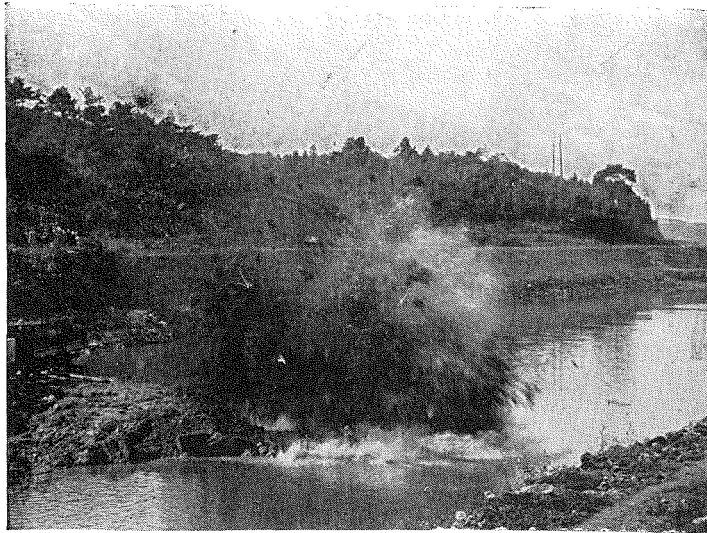
電話 自五〇〇番
浪花 至五〇〇三番
振替東京四一〇番

一 般 用  坑 内 用

爆 藥 パ ー ク ロ

製 品 種 類 {

稻 妻 印 一 號	ア カ リ 用
稻 妻 印 二 號	採 鑛 用 (有 毒 一 酸 化 炭 素 瓦 斯 無 シ)
キ リ ン 印 一 號	採 鑛 用 (有 毒 一 酸 化 炭 素 瓦 斯 無 シ)
キ リ ン 印 二 號	石 割 用
虎 印 一 號	坑 内 用、隧 道 用 (無 臭 無 害)



特 徴

1. 純 國 産 過 鹽 素 酸 鹽 爆 藥
2. 安 價 ニ シ テ 威 力 強 烈
3. 取 扱 法 簡 易 衝 撃 ニ 鈍 感 ニ シ テ 安 全
4. 成 分 ノ 夏 季 滲 出、冬 季 凍 結 皆 無 害
5. 坑 内 用 ハ 無 臭 無 害
6. 原 料 全 部 同 系 會 社 ノ 製 造 ニ テ 自 給 自 足

(カ タ ロ グ 贈 呈)

昭 和 火 藥 株 式 會 社

社 長 森 轟 昶

本 社 東 京 市 京 橋 區 寶 町 一 ノ 七 味 の 素 ビ ル 電 話 京 橋 (56) {152-156
7111-7115
京 城 營 業 所 京 城 府 南 大 門 通 二 ノ 一 日 本 生 命 ビ ル (電 話 本 局 ㊟ 3408)
作 業 所 千 葉 縣 夷 隅 郡 興 津 町 守 谷 (電 話 千 葉 縣 興 津 16)

ヨーギョー・シリカセメントの
特異性能



耐火 || 攝氏八〇〇度以上の赤熱から冷水に投じて龜裂せず

防水 || 地下室、地下道等に使用して防水効果絶對顯著なり。

耐鹹 || 岸壁「ケイソン」等海水工事に侵蝕なく強力増加す。

低熱 || 堰堤其他「マスコンクリート」に使用して發熱せず。

耐蝕 || 硫酸等の酸類及鹽類溶液中にても蝕損せず安全なり。

鏝展 || 壁面に塗つて普通セメントに比し五割の鏝展びあり。

Practical Engineering

英語工學雜誌の名の下に機械電氣化學土木建築等世界の新しいニュース 然も簡地に報道してゐる。原文對譯圖版等を以て解り易くまた興味深く共に語學の勉學に供する最も新しい編輯法の工學雜誌である。然も一册二十錢の廉價で内容は世界的である。菊判40頁寫眞版挿入全國書店に有り 實物を見られよ

東京丸の内三ノ六プラクチカル・エンヂニヤリング發行所

各種
ポンプ
電動機
その他



ミキサー・捲揚機
コンクリートエレベーター

新古 土木建築鑛山用諸機械

合資 前澤商店

東京市本所区緑町四丁目三十五(江東橋河岸通)

電話本所(73)6792番

工 事 畫 報 の 合 本

昭和十一年度上巻迄

濃綠色クロス装、堅牢にして且美麗、巻頭に總目次を附し全通頁とした爲一層便利となつた。毎年一二三四五六の六ヶ月分を上巻とし七八九十十一十二の六ヶ月を下巻とし各一百部限定製本。従つて残部極めて少し。定價送料共四圓三十錢

申込は振替東京七〇二六五地工事畫報社へ。朝鮮、滿洲、南洋方面に限り送料二十錢増の事。

超 高 級

浅野ベロセメント

短期 高 強 度
工事 期間 短 縮
工事 費 節 約



(浅野セメント香春工場)



低 發 熱

浅野マスコンセメント

大塊コンクリート用

説明書御申込次第送呈

浅野セメント株式会社

東京丸ノ内・海上ビル新館

THE "KOJI GAHO"
 AN ILLUSTRATED CONSTRUCTION REVIFW
 VOL. 12, No. 9
 Published Monthly by the Koji-Gaho-sha
 Tokyo Japan

三菱エレベータ

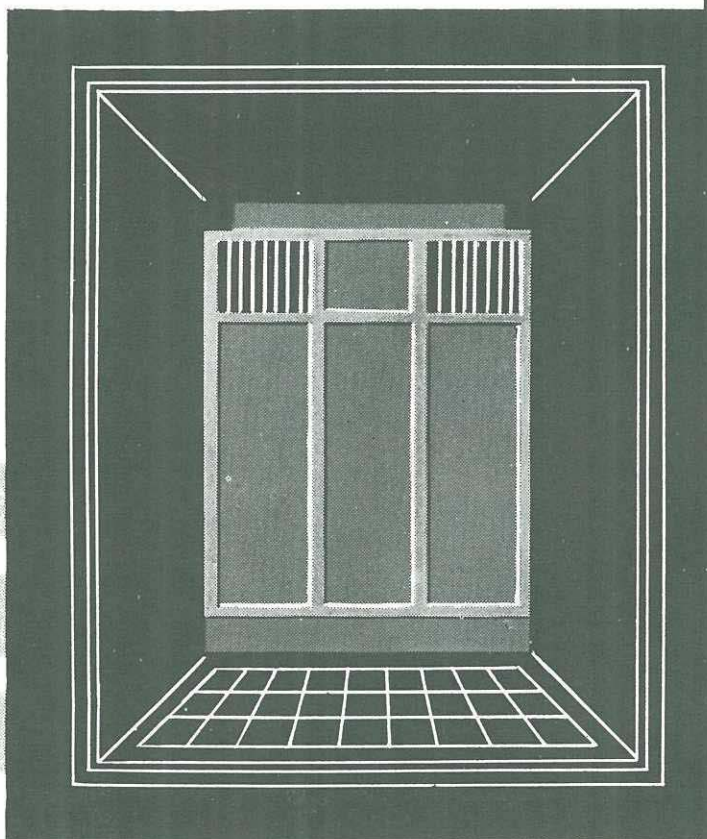
製作と据付

昭和十一年九月一日發行(毎月一回發行)
 大正十四年七月二十八日第三號
 印刷
 認
 可

土木
 建築
 工事
 畫報
 第十二卷
 第九號



乗用 エレベータ
 貨物用 エレベータ
 給仕用 エレベータ
 電氣自動階段



定價金七十錢
 送料二錢

一手販賣店
三菱商事株式会社
 京東丸ノ内
三菱電機株式会社
 機械部 東京・支部・支店 出張所各地 製作所 神戸・名古屋・長崎

カタログ説明書の御用命は〔東京中央便郵局私書函188號三菱電機株式会社〕宛御申込乞ふ